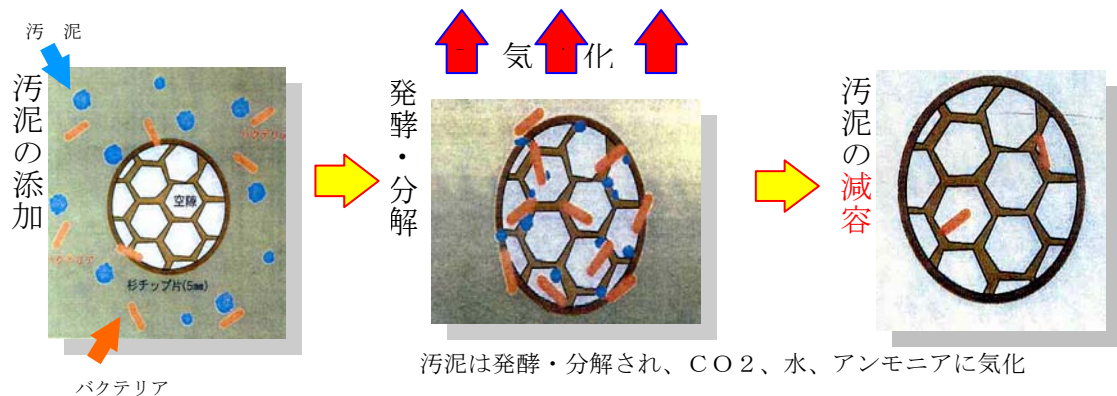


発酵分解による減容化技術

1. 事業主体 株式会社ミシマ（松江市大庭町）
2. 実施場所 東出雲町ほか
3. 取組の概要 下水汚泥や食品残さを杉チップと一緒に加温・攪拌し、高温好気性発酵により減容化させるプラントの開発・製造販売

株式会社ミシマでは、”好熱バクテリアを用いた高温好気発酵分析論の基礎研究”に着目し、長年の実用化の研究を経て、食品残さ・下水汚泥の高効率減容化プラントを開発。下水汚泥や食品残さを杉チップと一緒に加温・攪拌し、高温好気性発酵により、下水汚泥や食品残さは発酵ガスと水に分解されるシステム。発酵ガスは、微生物脱臭機で無臭化され大気中に放出。一般的な下水汚泥等の処分方法である焼却・埋め立てに替わって、環境にやさしく、ランニングコストの大幅な削減に貢献している。

島根県内では、下水汚泥処理や学校給食センターの生ごみ処理に松江市、雲南市、東出雲町等に導入されており、県外での導入も実現している。また、発酵残さは農林水産省の肥料登録済みである。



施設



試験栽培

農業集落排水処理施設の汚泥処理に本技術を導入した東出雲町では、発酵分解槽での磨耗等によって使用済となった杉チップの成分分析を実施し、有効な肥料として効能を確認。地域農業への有効利用による資源循環型農業の確立を目指し、島根大学等との共同研究により、肥料としての有効利用の研究を行なっている。